

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月18日		記入者	連絡先	3257
部 名	土木部	課 名	道路整備課	課長名	小山武彦
事務事業名	都市計画道路相模大野線道路改良事業				
予算上の事務事業名	都市計画道路相模大野線道路改良事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32120		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第1節 骨格幹線道路網の整備			事業開始年度	
施 策 名	第2施策 市内幹線道路の整備			平成5年度 ▼	
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
都市計画法、道路法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	道路整備10ヵ年計画 後期		相模大野駅から東林間線に向かって国道16号と平行に計画されており、この路線の整備により周辺生活道路の渋滞緩和と交通安全の向上を図る。		
計画年次	5	年度～	17	年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
相模大野駅から東林間線に向かって国道16号と平行に計画されており、この路線の整備により周辺生活道路の渋滞緩和と歩行者などの交通安全の向上を図る。				歩行者、自転車、自動車等	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
道路延長 (第2工区) 4 6 2 m 計画幅員 1 6 m (両歩道 3. 5 m) 現況幅員 8 m					
平成16年度までの整備済延長 3 3 5 m					
平成17年度整備延長 6 5 m					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	42,830	31,839	23,691	0	23,240
一般財源	4,830	5,139	2,591	0	23,240
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	38,000	26,700	21,100	0	0
人件費の合計	2,403	2,421	2,415	0	2,415
事業コスト合計	45,233	34,260	26,106	0	25,655
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	都市計画道路相模大野線道路改良事業			対象名称と単位	整備延長 (m)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	45,233	34,260	26,106	0	25,655
対象数	184	100	65	0	62
単位あたり経費(円)	245,832	342,600	401,631	#DIV/0!	413,790
前年度比		1.39	1.17	#DIV/0!	#DIV/0!
9 活動指標・・・実施した内容 (活動) を数値化したもの					

指標名と単位	道路整備率	指標式と指標の説明	整備延長／目標整備延長＊１００		
	平成１５年度	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度（目標）
実績	184.0	100.0	65.0		
目標	184.0	100.0	65.0	0.0	62.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 0 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	延整備延長率	指標式と指標の説明	延整備延長／目標延整備延長＊１００		
	平成１５年度	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度（目標）
実績	235.0	335.0	400.0		
目標	462.0	462.0	462.0	462.0	462.0
目標達成度（％）	50.9	72.5	86.6		
1 1 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
1 2 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		東林間線（交差点）までの整備が完成したことにより歩行者と車の分離が図られ、交通安全の向上が図られた。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 3 成果の向上及び効率性を高めるための方策 未整備区間の早期整備を推進する。			1 4 課題として認識されたこと 用地交渉に際し、地権者との交渉に日時を要する。		
1 5 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		早急な用地取得に努めること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			